

サケ稚魚放流情報 No. 4



令和元年5月8日
岩手県水産技術センター
漁業資源部
TEL: 0193-26-7915
FAX: 0193-26-7920

4月に入って、湾内の表面水温は急上昇していますが、餌量は全体的に多めに推移しています。

今年度の放流は、一部を残してほぼ終了していますが、放流した稚魚の生息環境は、概ね良好な年だったと考えられます。

1 表面水温 (°C)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(4/22、23)	10.4	10.1	9.9	9.8	10.3
平年*	8.7	8.6	8.1	8.4	9.7
前年同期	9.7	8.7	9.8	11.0	12.7

各湾の表面水温は、平年と比較して1～2°C程度高め、前年同期と比較して、2°C低め～1°C高めとなっており、4月に入って急激に上昇しています(図1)。

2 動物プランクトン沈殿量 (ノルパックネット鉛直20m曳き、ml/m³)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(4/22、23)	3.14	1.94	2.19	10.25	1.95
平年*	2.65	1.56	2.53	2.89	1.36
前年同期	3.02	0.53	0.61	0.84	2.72

動物プランクトン沈殿量は、平年と比較して、各湾とも多くなっており、前年と比較して、大船渡湾で少ない他、各湾ともきわめて多くなっており、全体的に餌量は多めに推移しました(図1)。

3 山田湾における水温・塩分・動物プランクトン連続モニタリング結果**

- (1) 氷場漁場において、音響機器(プロファイラー)で連続観測を実施しています。
- (2) 令和元年5月7日現在、氷場漁場は水温9.56°C、塩分33.84となっています(図2)。

4 その他

- (1) 北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査によるものです。
- (2) いわて大漁ナビ(<http://www.suigi.pref.iwate.jp/>)の定地水温情報・衛星画像や、当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

*平年は過去14～16年間の同期の平均値。

**平成30年度まで先端技術展開事業「天然資源への影響を軽減した持続的な漁業・養殖業生産システムの実用化・実証研究委託事業」、平成31年度は「さけ・ますふ化放流抜本対策事業」による研究成果(モデル海域:山田湾)

今年度の放流情報は本号で終了します。
長期間の飼育管理、ご苦勞様でした。

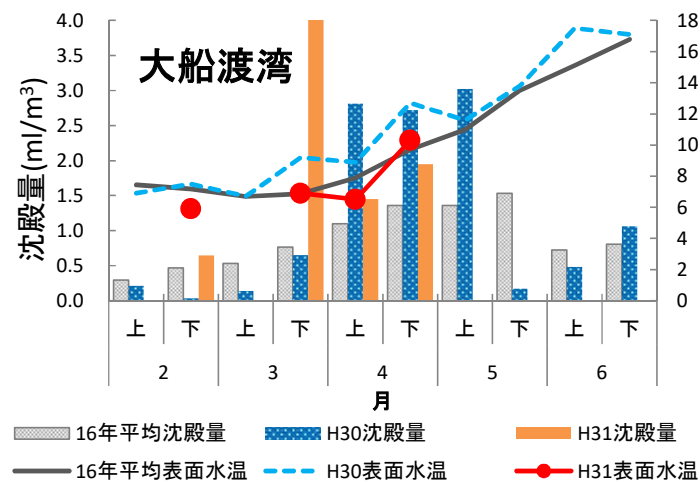
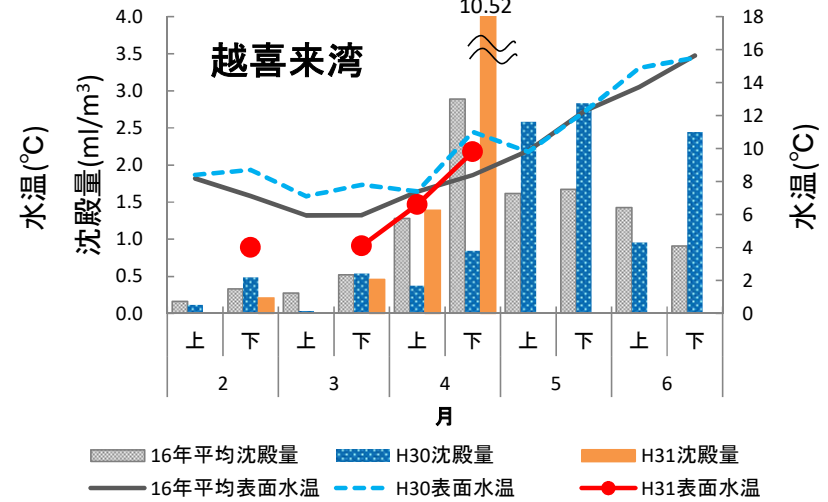
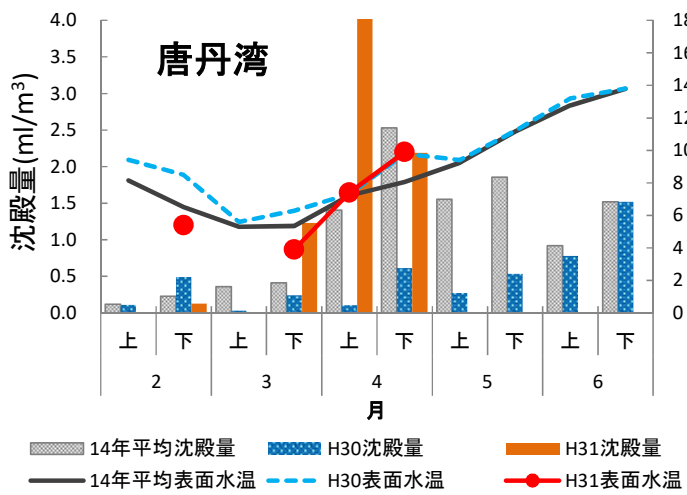
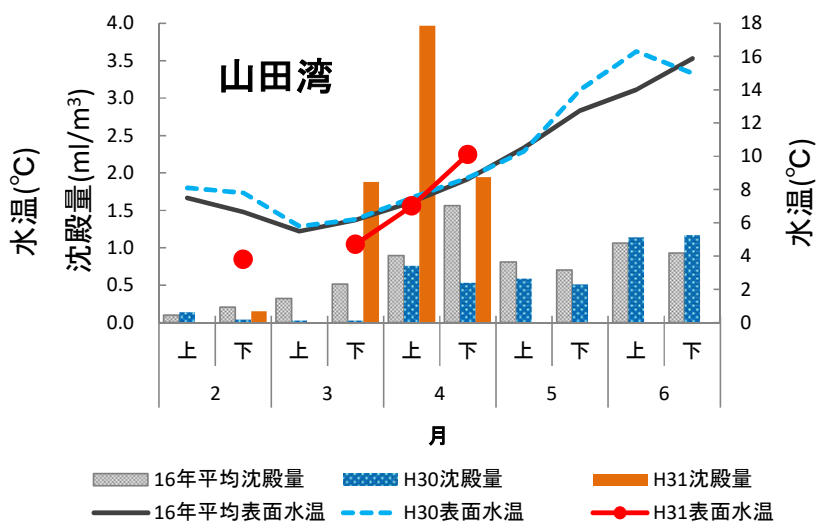
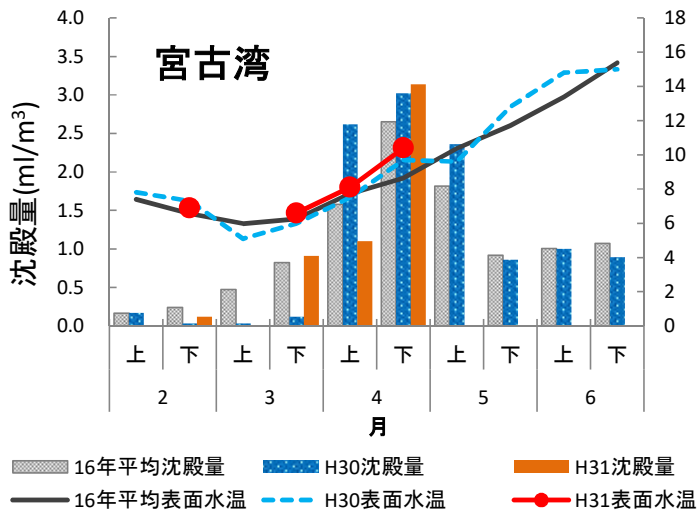


図1 5湾における動物プランクトン沈殿量，表面水温の季節変化

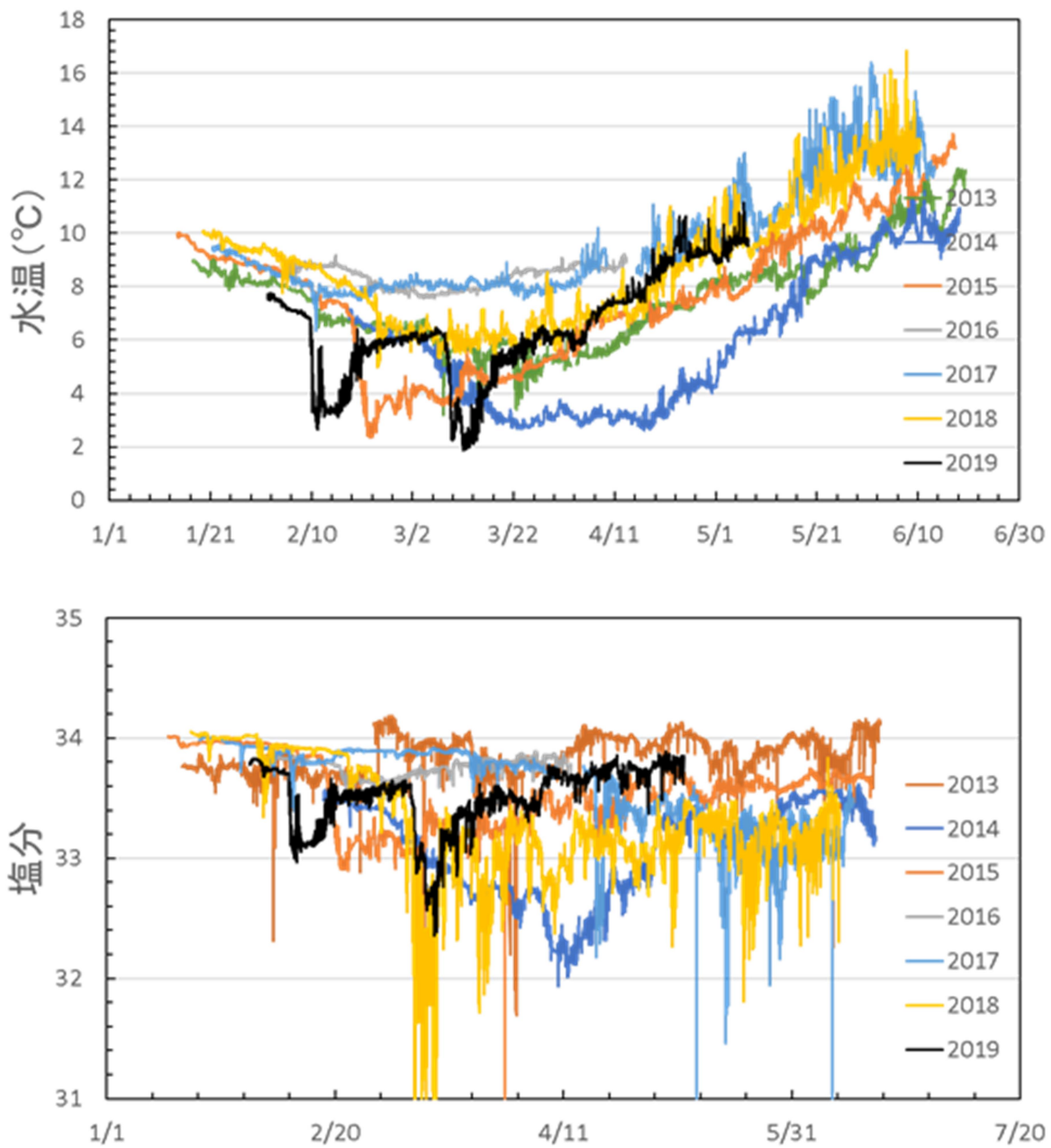


図2 山田湾（氷場漁場、10m深）における水温・塩分の日変化（令和元年5月7日現在）